演習問題 2.25

2.3.1 節や 2.3.2 節では、多変量ガウス分布の条件付き分布や周辺分布について考察した。 より一般的に、 \mathbf{x} の要素を \mathbf{x}_a , \mathbf{x}_b 、および \mathbf{x}_c の 3 つに分けることを考える。この分割により、対応する平均ベクトル $\boldsymbol{\mu}$ と共分散行列 $\boldsymbol{\Sigma}$ は、

$$\mu = \begin{pmatrix} \mu_a \\ \mu_b \\ \mu_c \end{pmatrix}, \qquad \Sigma = \begin{pmatrix} \Sigma_{aa} & \Sigma_{ab} & \Sigma_{ac} \\ \Sigma_{ba} & \Sigma_{bb} & \Sigma_{bc} \\ \Sigma_{ca} & \Sigma_{cb} & \Sigma_{cc} \end{pmatrix} \cdots (2.288)$$

のように分割される。2.3 節の結果を用いて、 \mathbf{x}_c を周辺化で消去した条件付き分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b)$ の式を求めよ。

[条件付きガウス分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b)$ の平均]

$$\mu_{a|b} = \mu_a + \Sigma_{ab} \Sigma_{bb}^{-1} (\mathbf{x}_b - \mu_b)$$
... (2.81)

[条件付きガウス分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b)$ の共分散]

$$\Sigma_{a|b} = \Sigma_{aa} - \Sigma_{ab} \Sigma_{bb}^{-1} \Sigma_{ba}$$
 ... (2.82)

[解]

2.3 節の結果を用いて、 \mathbf{x}_c を周辺化で消去した条件付き分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b)$ の式を求める。 まず初めに、同時分布 $p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b, \mathbf{x}_c)$ を考える。この同時分布を \mathbf{x}_c で周辺化すると、同時分布 $p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b)$ が得られる。同時分布 $p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b, \mathbf{x}_c)$ の \mathbf{x}_c による周辺化の式を以下に示す。

$$p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b) = \int p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b, \mathbf{x}_c) d\mathbf{x}_c$$

ここで、2.3.2節の結果を用いると、そのガウス分布の平均と共分散は

$$\mu_{a,b} = \begin{pmatrix} \mu_a \\ \mu_b \end{pmatrix}$$
, $\Sigma_{a,b} = \begin{pmatrix} \Sigma_{aa} & \Sigma_{ab} \\ \Sigma_{ba} & \Sigma_{bb} \end{pmatrix}$

となる。すると、2.3.1 節の結果から、 $p(\mathbf{x}_a, \mathbf{x}_b)$ のガウス分布の平均と共分散は、以下の式 (2.81) と式 (2.82) でそれぞれ与えられる。

$$\mu_{a|b} = \mu_a + \Sigma_{ab} \Sigma_{bb}^{-1} (\mathbf{x}_b - \mu_b)$$

$$\Sigma_{a|b} = \Sigma_{aa} - \Sigma_{ab} \Sigma_{bb}^{-1} \Sigma_{ba}$$

$$\cdots (2.81)$$

$$\cdots (2.82)$$

よって、 \mathbf{x}_c を周辺化で消去した条件付き分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b)$ の式は、

$$p(\mathbf{x}_{a} \mid \mathbf{x}_{b}) = N(\mathbf{x}_{a} \mid \boldsymbol{\mu}_{a|b}, \boldsymbol{\Sigma}_{a|b})$$

$$= \frac{1}{(2\pi)^{D/2}} \frac{1}{|\boldsymbol{\Sigma}_{a|b}|^{1/2}} \exp\left\{-\frac{1}{2}(\mathbf{x}_{a} - \boldsymbol{\mu}_{a|b})^{T} \boldsymbol{\Sigma}_{a|b}^{-1}(\mathbf{x}_{a} - \boldsymbol{\mu}_{a|b})\right\}$$

と表される。

[精度行列 (precision matrix) を用いた条件付き分布 $p(\mathbf{x}_a \mid \mathbf{x}_b$) の平均と共分散]

条件付き分布は、分割された共分散行列よりも、分割された精度行列を用いて表現した方が簡潔になる。

$$\Sigma_{a|b} = \Lambda_{aa}^{-1}$$

$$\cdots (2.73)$$

$$\mu_{a|b} = \mu_a - \Lambda_{aa}^{-1} \Lambda_{ab} (\mathbf{x}_b - \mu_b)$$

$$\cdots (2.75)$$